

ご一緒にしましょう コミュニティづくりを!

中野ふくし倶楽部通信

「中野ふくし倶楽部」は、主に中野区に暮らす人々の福祉の向上と子どもたちの豊かな育ちに貢献することを目的としています。

NPO 法人 中野ふくし倶楽部
 発行責任者 北風敦子
 編集者 田中芳樹
 中野区中央 4-53-7 YHNビル 101
 TEL 03-3384-5616

市民オンブズパーソン中野が意見書

市民オンブズパーソン中野は、1 月 29 日、政務活動費についての意見書を、区議会議長、議会運営委員会委員長に提出しました。この中で、あらためて領収書添付義務が 1 万円以上という 23 区で唯一の遅れた規定を改めるよう求めました。

「1万円以下は領収書いらぬりは中野区だけ！」
 23区で

市民オンブズパーソン中野 山崎 由紀子
 ここ数年区議会議員の政務調査費を情報公開請求し、チェックしています。中野では1人月15万円、年間180万円が政党ごとに支給されます。全額使わない会派もありますが、殆どが使われています。
 こんなことに税金が使われるの?という驚きもよくあります。どうみてもあまりにも多額の交通費(区内都内)、飲食代などでも、1万円以下は領収書の添付がないために、内容を確認しようがないのです。1万円以下の領収書の添付義務がないのは、23区では中野区だけです。
 もし一般の区民が区の助成金を貰うとしたら、報告が大変です。1円からきちんとした領収書の添付が必要です。
 1円以上から領収書添付を義務付け、用途をネット上に公開すれば、チェックにお金もかからないし、多くの人が見ることが出来ます。まずここから攻めていきたいと作業しているところです。

区名	領収書の条件	原本/コピー	備考
千代田区	1 円以上	原本	
中央区	1 円以上	原本	
港区	1 円以上	原本	
新宿区	1 円以上	原本	
文京区	1 円以上	原本	やむを得ない場合はコピー可
台東区	1 円以上	原本	
墨田区	1 円以上	原本	
江東区	1 円以上	原本	
品川区	1 円以上	原本	
目黒区	1 円以上	原本	原本がないときは理由を明示
大田区	1 円以上	原本	
世田谷区	1 円以上	コピー	提出義務はないがHPで公表
渋谷区	1 円以上	原本	
中野区	10000 円以上	原本	
杉並区	1 円以上	原本	
豊島区	1 円以上	原本	
北区	1 円以上	コピー可	
荒川区	1 円以上	原本	
板橋区	1 円以上	原本	
練馬区	1 円以上	原本	
足立区	1 円以上	原本	
葛飾区	1 円以上	原本	近距離の交通費等は不要
江戸川区	1 円以上	原本	

2013 年 4 月現在 中野ふくし倶楽部調べ



合同お花見会 楽しく和やかに!

3 月 29 日、ダイルーム近くのいちよう公園で、利用者さん、ボランティア、職員、30 数名でお花見会を開催しました。ぱっと咲いた桜はこの日には散り始め、風が吹くと桜吹雪が舞い、ちらしずしや食後のお抹茶の中にはらりと落ちて、最高のお花見会ができました。

アコーディオン演奏の斉藤さんに伴奏をしてもらい、リクエスト数曲をみんなで歌い、参加者は楽しいひとときを過ごしました。

お元気ですか？

理事長 大畑 きぬ代

春4月、「出会い」の季節です。皆さんには新しい「出会い」がありましたか？

大きな「変化」もあります。私たちの生活に直接影響することがはっきりしているTPPが出てきました。一人ひとりの食や医療の「安心」を奪われ、すでに交渉された事に、後入りは口を出す権利もないという。

「あおぞら」は、利用者のみなさんに「安心」を届けることを仕事としています。その一員としては、「心配」を増やすTPPには怒り心頭です。少なくとも、事の重大さからみて、情報公開が必須ではないでしょうか。

生活保護の切り下げを考える

講師:朝日健二さん

20人参加 学習と交流の連続講座(2月)

いま2013年度予算案で保護基準の8.3%切り下げが提案されています。生活保護バッシングも行われています。しかし、保護基準の切り下げの理由は、極端に所得の低い人と比べて生活保護基準が高いと言う。これでは国民の生活全体を低いほうへ導こうとするようなものです。実際、保護基準引き下げは社会保障すべてに連動していきます。

自分のたたかいが国民全体の問題である、と訴訟にとりくんだ当時の朝日茂さんの思い、裁判官の質問へおだやかに答えた人柄なども話されました。自身のいきさつについてもユーモアをまじえながら語られた朝日健二さん、静かな中にも、政府のやり方への強い怒りが込められたお話でした。

社会保障も、たたかわなければ守れない。深く考えさせられる講演でした。

**新人紹介**あおぞら在宅介護サー
ビス 常勤ヘルパー

小田桐 由季さん

「人間が好きなんです！」 どうしてこの仕事を、という質問に、ためらいなくそう答える23歳。人文学部人間関係学科卒、なるほど。

事業所の中で20歳代は彼女だけ…「ギャップはありませんか?」「ありますねえ。かつての流行歌手の名前知らなくて、父に情報聞いたりしました。でも先輩も親切に教えてくれますよ。」

学生時代から介護の仕事につこうと思い、在学中にヘルパー2級を取得。「コミュニケーションは好きです。自分から話すように努力しています。」人懐っこい笑顔です。介護の仕事については、「子どもと同じように高齢者の福祉にもっとお金を使うべきだと思います。」

群馬県渋川市出身、大学生の弟さんとともに、藤間紫門下の日本舞踊をたしなむ。スポーツは陸上が得意。休みの日は何しているの?…「今は仕事に一生懸命なので…休みは寝ています。」

当面の夢は社会福祉士になること。再来年の合格をめざし勉強中。

中野ふくし倶楽部日誌

- 2月 21日 第10回理事会
- 2月 25日 スキルアップ研修
- 2月 28日 連続講座

「生活保護の切り下げ」朝日健二さん

- 3月 17日 第11回理事会
- 3月 26日 チャイルドライン講演会
「男子の性・思春期の性」
- 3月 29日 合同お花見会
- 4月 21日 第12回理事会

次回連続講座は保育園待機児問題を取り上げる予定です
5月18日(土)午後を予定
講師交渉中